

# 2025年3月期（2024年度） 決算説明会

（2024/4/1～2025/3/31）

※この資料に記載されている業績予想等の将来に関する予測は、当社経営陣が現時点で入手可能な情報に基づき、判断したものです。  
将来に関する予想には様々な潜在的リスクや不確定要素が内在されており、実際の業績は種々の要素によりこれらの将来予想とは異なる場合があります。  
従いまして、この資料にある将来に関する予想に全面的に依存して投資等の判断を行うことはお差し控えてください。

# 代表取締役の異動（社長交代）に関するお知らせ

当社は2025年5月16日開催の取締役会において、代表取締役の異動（社長交代）を内定いたしました。本件は、2025年6月26日開催予定の当社第72期定時株主総会、およびその後の取締役会において正式に決定される予定です。

## 1. 異動の理由

2025年6月26日開催予定の定時株主総会以降の役員新体制決定によるもの。

## 2. 異動の内容

氏名	新役職名	現役職名
鷹野 準	代表取締役会長	代表取締役社長
鷹野 雅央	代表取締役社長	取締役 画像計測部門担当

## 3. 就任予定日

2025年6月26日

# 2025年3月期（2024年度）実績及び 2026年3月期（2025年度）見通しについて

代表取締役社長 鷹野 準

# 2024年度決算及び2025年度予想ガイダンス

(単位：百万円)

	2023年度 実績	2024年度 実績	対前期比
売上高	25,173	23,969	△1,203
営業利益	880	451	△429
経常利益	1,023	528	△494
親会社株主に帰属 する当期純利益	601	520	△80
1株当たり配当金	20円00銭	20円00銭	-

## ● 2024年度実績（対前期比）

売上は検査計測機器、産業機器が減収。  
営業利益は全社的な固定費抑制活動による挽回を図ったが  
減収影響大にて減益の結果となった。

	2024年度 実績	2025年度 予想	対前期比
	23,969	25,000	1,030
	451	750	298
	528	850	321
	520	600	79
	20円00銭	20円00銭	-

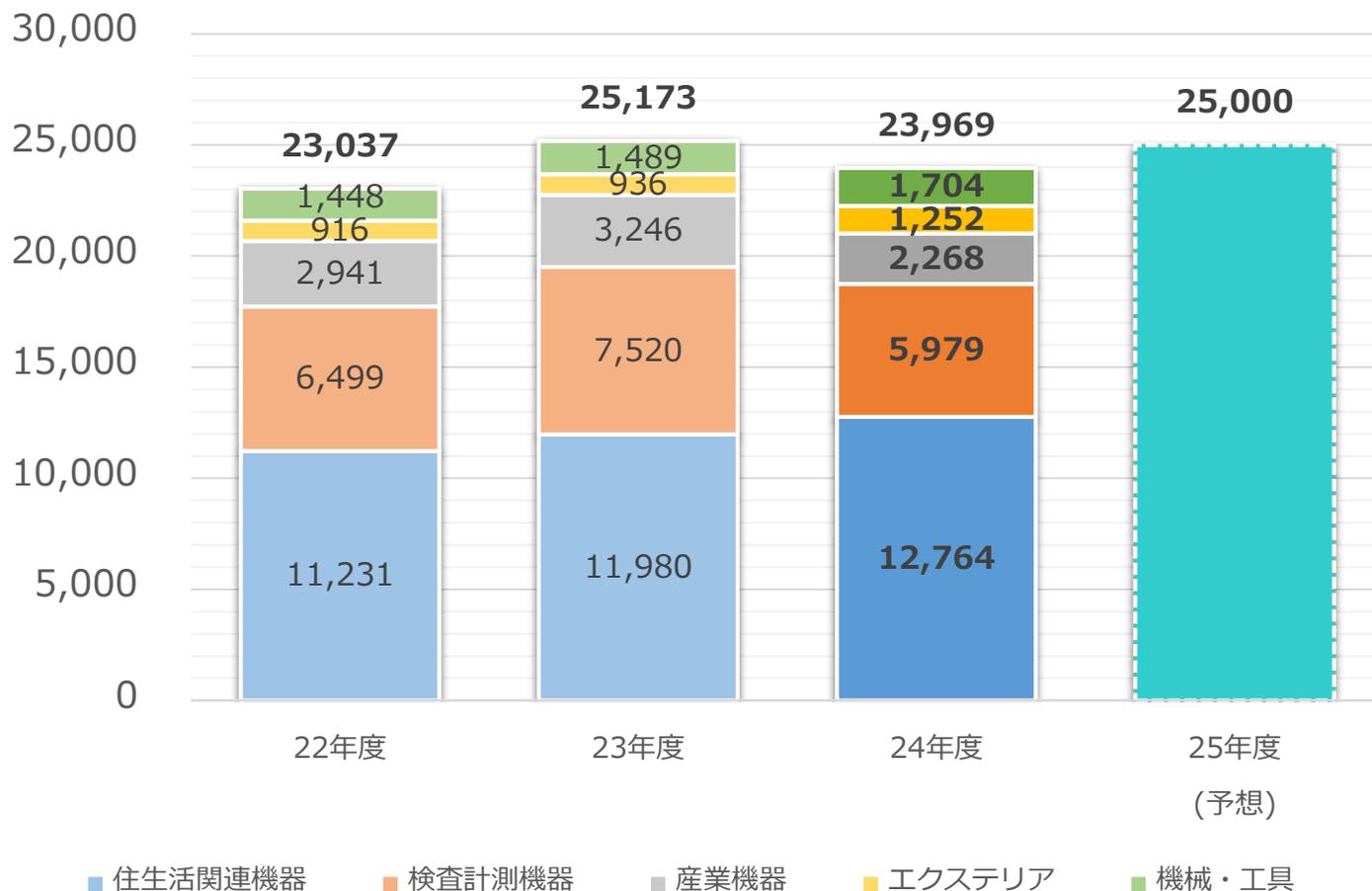
## ● 2025年度予想（対前期比）

住生活関連機器は前期並み堅調、検査計測機器、産業機器  
増収効果で利益創出する。

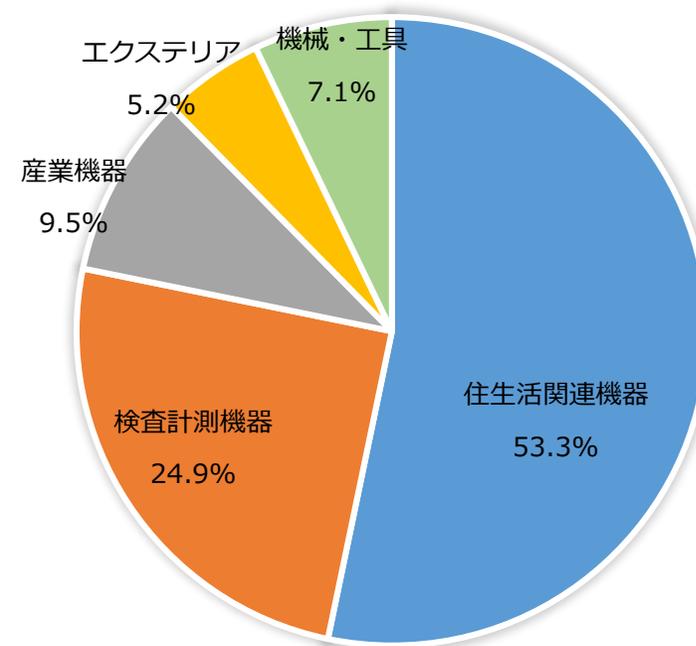
# 連結セグメント別売上高の推移

## セグメント別売上高推移

単位：百万円



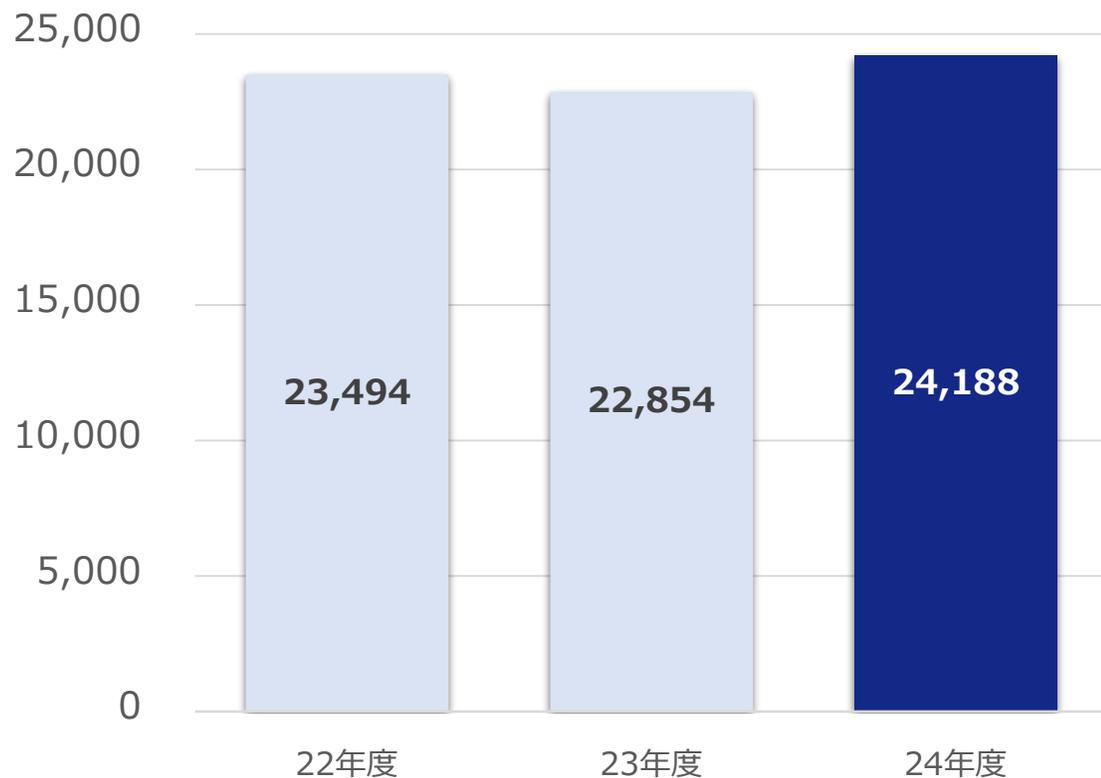
## 2024年度 売上高構成比



# 受注・受注残高の状況

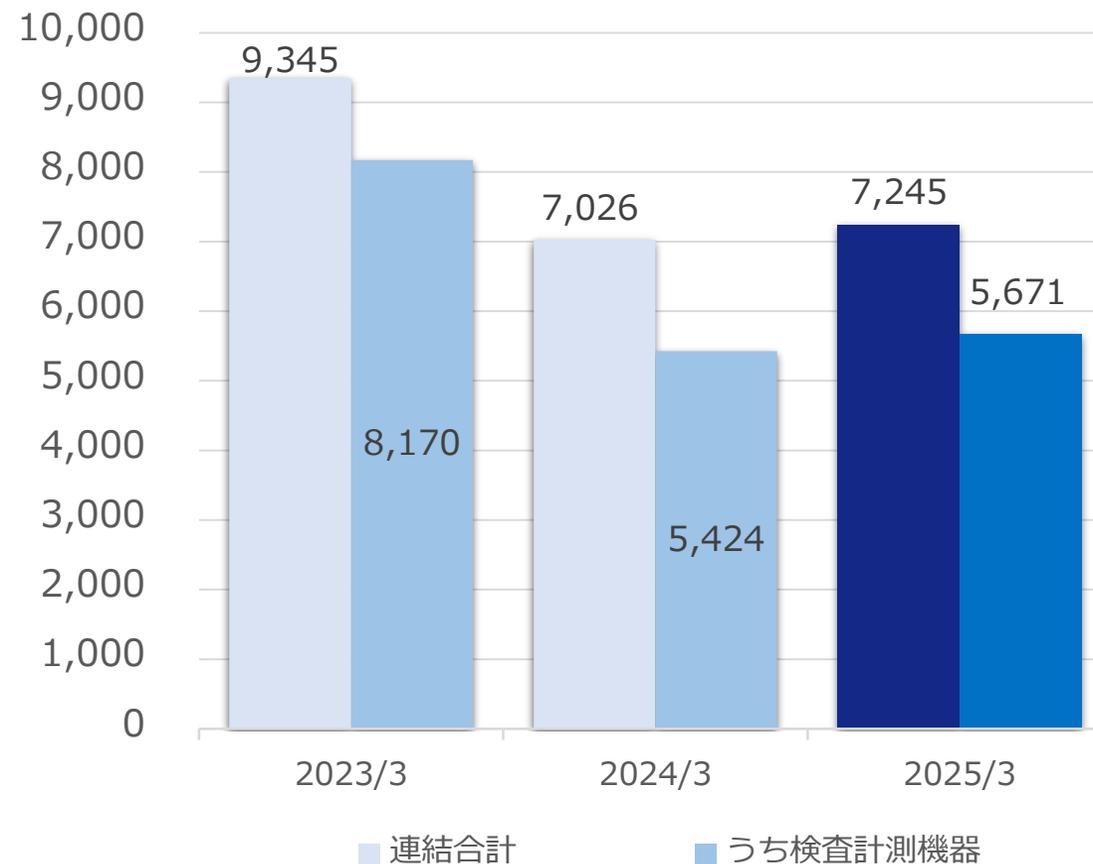
## 受注高推移

単位：百万円



## 受注残高推移

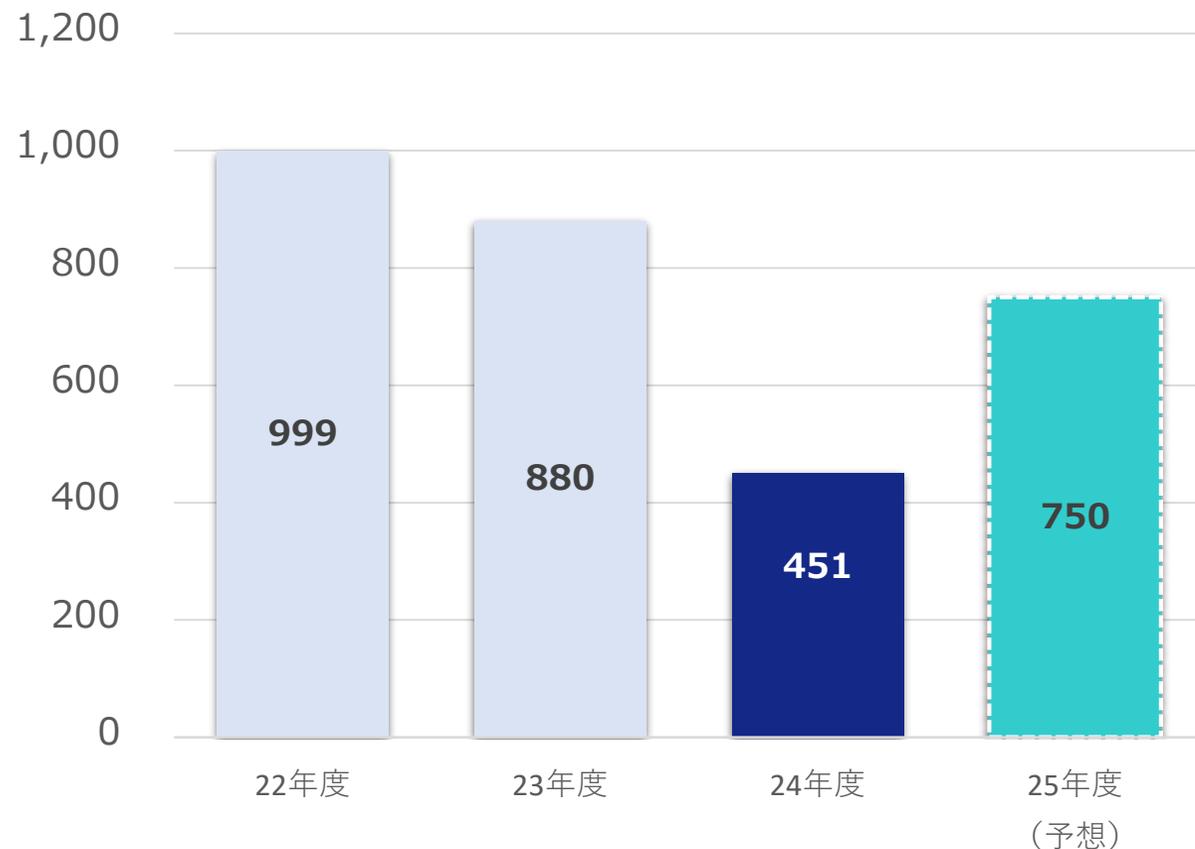
単位：百万円



# 連結セグメント別利益の推移

単位：百万円

セグメント別利益推移



【連結セグメント別利益 内訳】

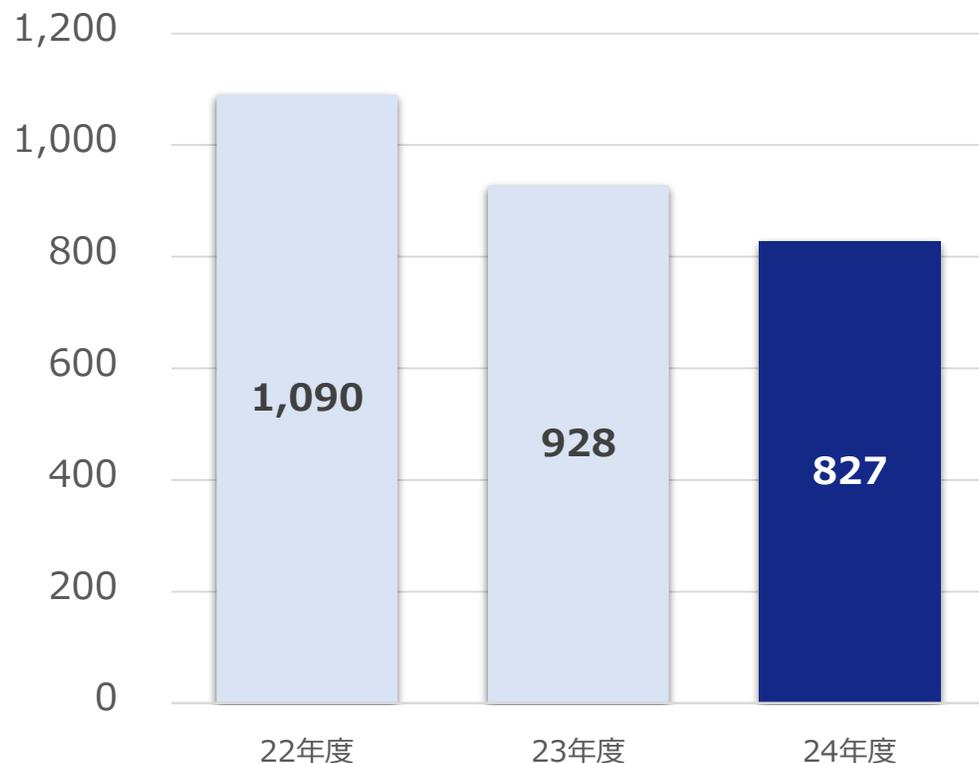
(単位：百万円)

	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績
住生活関連機器	△145	△47	472
検査計測機器	541	266	61
産業機器	504	576	△257
エクステリア	6	△6	87
機械・工具	93	76	98
連結調整	△1	15	△11
合計(営業利益)	999	880	451

# 設備投資の状況

## 設備投資額推移

単位：百万円



### ● 2024年度の主な設備投資の内容

#### ■ 産業機器

- ・ 複合加工機、NC旋盤等の機械装置

#### ■ 検査計測機器

- ・ 評価用検査計測装置

#### ■ 住生活関連機器

- ・ 成型機、太陽光発電設備

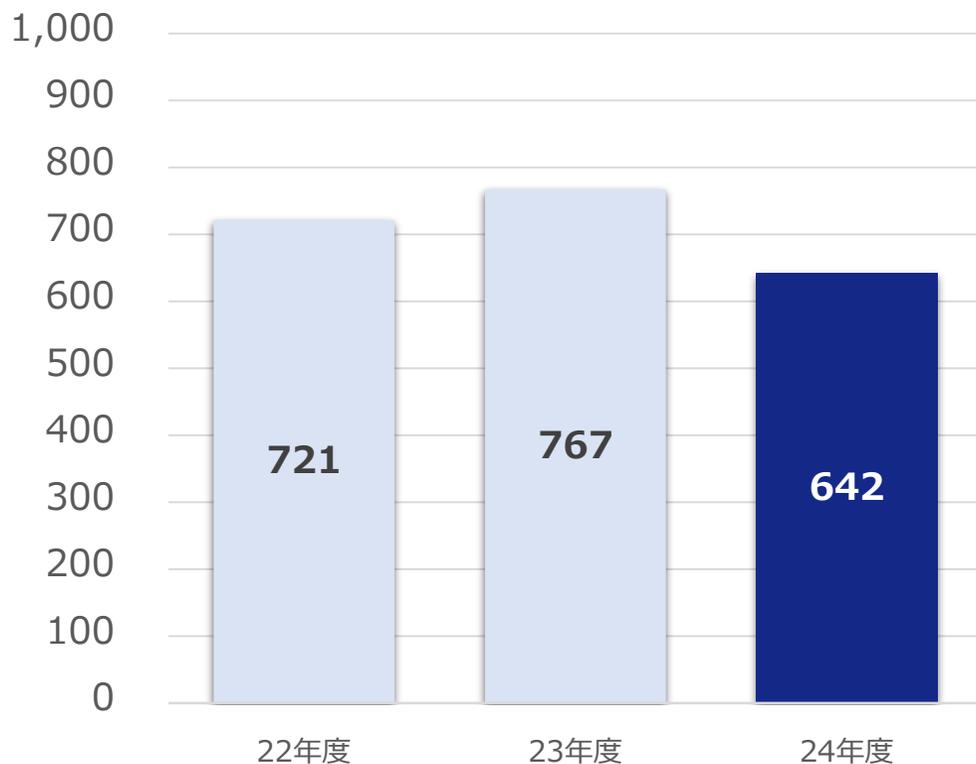
#### ■ 全社（共通）

- ・ 基幹システムの構築に係る無形固定資産

# 研究開発の状況

## 研究開発費推移

単位：百万円



### ● 2024年度の主な研究開発の内容

#### ■ 住生活関連機器

- ・ 環境対応 新素材研究等
- ・ 金属3Dプリンターを活用した開発試作
- ・ 臨床検査薬の使用期限延長のための要素研究

#### ■ 検査計測機器

- ・ 高速・高精度対応の画像処理装置開発
- ・ AIによる欠陥分類研究

# トピックス

## ファニチャー部門：コクヨ様環境配慮商品

pallo



pallo (パロ)

ワークスタイルの変化や経年劣化等に対して、安心して長く使って頂ける様、背/座の交換が簡単に行なえる仕様になりました

Protty



Protty (プロッティ)

20年以上のロングセラー商品も環境に配慮した商品として生まれ変わりました



「端材を資材に」  
工場から出る端材を粉砕して、座クッションに使用しています

## エクステリア部門 オーニング施工実績

オーニング：新左近川親水公園様（東京都江戸川区）  
採用機種：リパーロ、数量：12連棟



パラソル：くらすわ様（長野県駒ヶ根市）  
採用機種：NOVA、数量：20台



オーニング：グランピングカシマ753様（茨城県鹿嶋市）  
採用機種：リパーロ、数量：4連棟



オーニング：道の駅いちかわ様（千葉県市川市）  
採用機種：リパーロ+サイドスクリーン、  
数量：1棟×2台



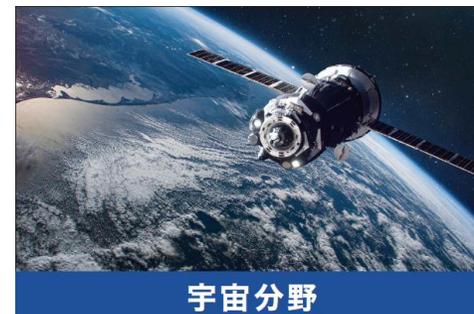
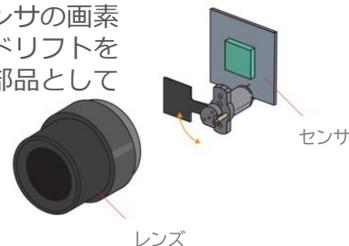
# 産業機器部門：光学ソレノイドシャッター BOSシリーズ

## 業界最小、最軽量

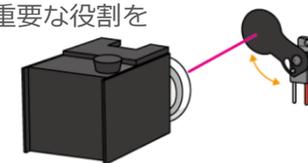
タカノでは、光学ソレノイドシャッターを豊富にラインアップしました。業界最小、最軽量クラスを誇り、近年、小型軽量化が求められる赤外線カメラや人工衛星のレーザー通信機の光を制御するための部品として重要な役割を担っています。



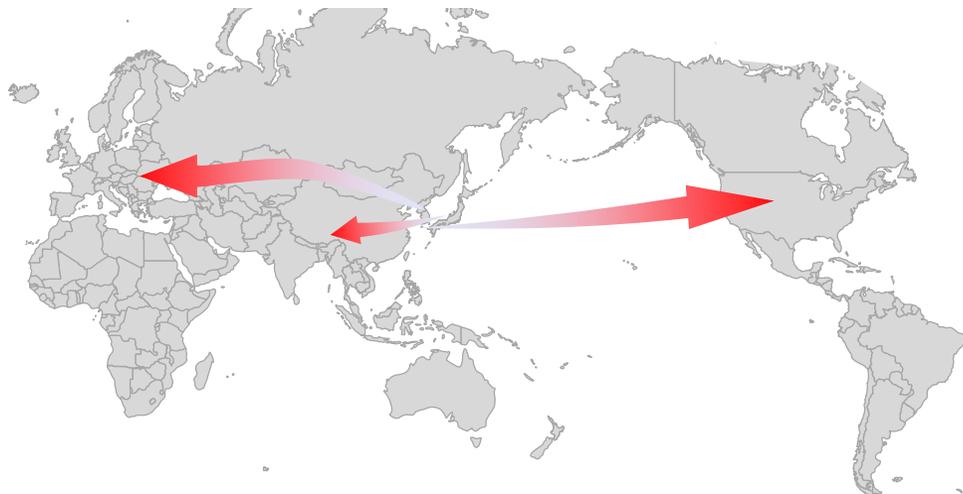
赤外線カメラでは、センサの画素ごとの感度ムラや温度ドリフトを補正するための重要な部品として活用されています。



小型軽量化が求められる人工衛星に搭載される、レーザー通信機器の光制御部品として重要な役割を果たしています。



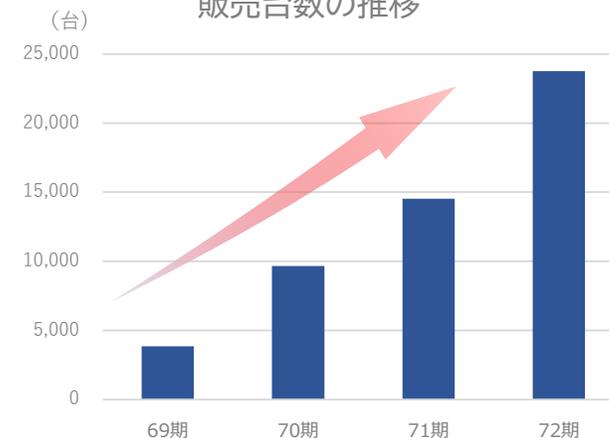
## グローバル展開 | 宮田から世界へ



海外出荷比率



販売台数の推移



## ヘルスケア部門：キッズフェスタ東京2025出展



2025年4月19日（土）・20日（日）に、東京流通センター（東京都大田区）で開催された、日本最大級の子ども向け福祉用具展「キッズフェスタ東京2025～第24回子どもの福祉用具展 アンダー18～」へ出展しました。

姿勢保持装置「バンビーナ posi（ポジ）」、子ども用シャワーチェア「SOCOTTO（ソコット）」などを展示しました。

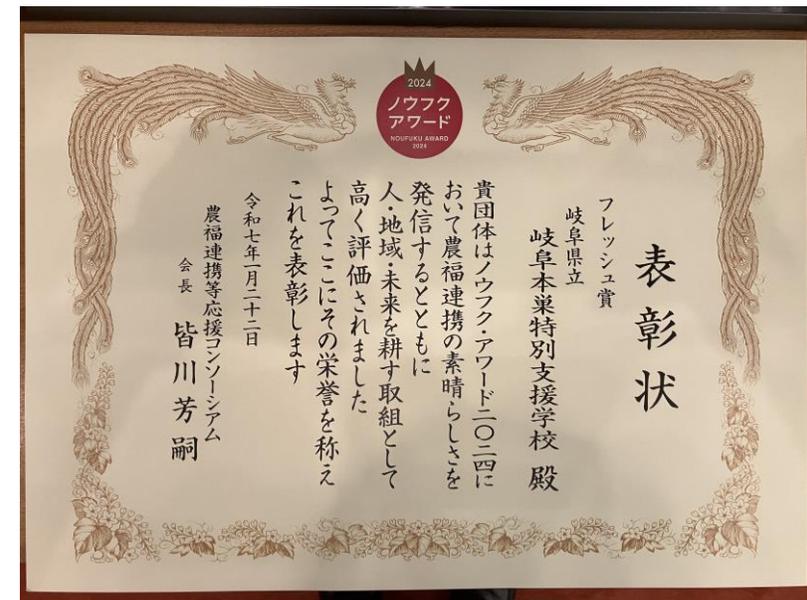


来場された方が当社製品をインスタに投稿してくださいました。



# アグリ事業推進室：高嶺ルビーを農福連携で活用

アグリ事業推進室では、岐阜県立岐阜本巣特別支援学校と連携し、2023年5月より「高嶺ルビー」栽培プロジェクトを推進しています。本プロジェクトは、タカノが所有する赤い花を咲かせる珍しいソバの品種「高嶺ルビー2011」を活用し、特別支援学校の生徒の社会参画促進と地元農業活性化を目指すものです。こうした当校の活動は『ノウフク・アワード2024 フレッシュ賞』を見事に受賞しました。



# 2024年度（2025年3月期） 検査計測機器 決算説明資料

取締役部門長 鷹野 雅央

2025年05月22日(木)

# 2025年3月期 検査計測機器 業績の内容等について

(ご注意)

本資料は、検査計測機器の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものです。

本資料で開示されているデータは、発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。本資料で述べられている予測や見通しには、不確実な情報が含まれていることをご承知おきください。

1. セグメント報告
2. タカノ検査計測部門報告
  1. 事業概況
  2. 売上受注計画
  3. 中期事業展開方針

# 1. セグメント報告

## 2. タカノ検査計測部門報告

### 1. 事業概況

### 2. 売上受注計画

### 3. 中期事業展開方針

# セグメント情報

	会社名	沿革	基本情報	事業の内容
加工・組立	<b>タカノ機械株式会社</b> ※連結子会社 	1979年当社治工具・専用機の設計製造部門を分離独立させ設立	事業人員：約50名 拠点：宮田村	<ul style="list-style-type: none"> <li>省力化機械の製造販売</li> <li>検査計測装置のメカ機械等の製作</li> </ul>
調整・出荷	<b>タカノ株式会社</b> <b>検査計測部門</b> 	1987年画像処理装置第1号機を完成	事業人員：約250名 国内拠点：全6拠点 <ul style="list-style-type: none"> <li>信州南平工場</li> <li>函館事業所</li> <li>埼玉事業所</li> <li>東京営業所</li> <li>静岡CSセンタ</li> <li>大分CSセンタ</li> </ul>	半導体や液晶・高機能フィルム用の検査計測装置等の製造販売
保守・改造	<b>台湾鷹野股份有限公司</b> ※連結子会社 	2005年当社100%子会社として設立	事業人員：約15名 拠点：全2拠点 <ul style="list-style-type: none"> <li>台中本社</li> <li>桃園事務所</li> </ul>	台湾におけるFPD向け画像処理検査装置のメンテナンス、アフターサービス、販売活動

## セグメント売上高（実績：2025年3月期）

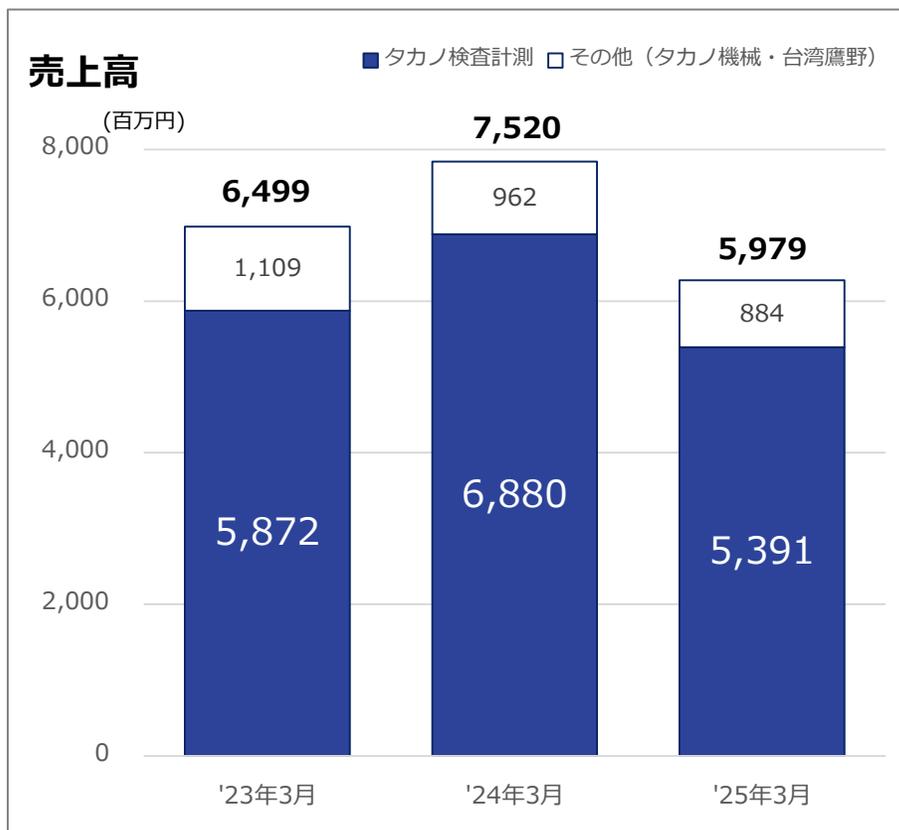
### セグメント売上高は大幅減収 半導体向け検査装置は比較的堅調もFPD向けの落ち込みの影響による

検査計測機器 売上高（百万円）

	2024年3月期	2025年3月期	増減額	増減率（%）
タカノ検査計測 ※1	6,880	5,391	△1,489	△21.6%
その他 ※1 (タカノ機械・台湾鷹野)	962	884	△77	△8.1%
調整額	△322	△296	—	—
<b>連結セグメント 売上高 ※2</b>	<b>7,520</b>	<b>5,979</b>	<b>△1,541</b>	<b>△20.5%</b>

※1：タカノ検査計測及びその他の売上高は、セグメント間取引消去前の数値。

※2：連結売上高は、セグメント間取引消去後の数値。



## セグメント営業利益（実績：2025年3月期）

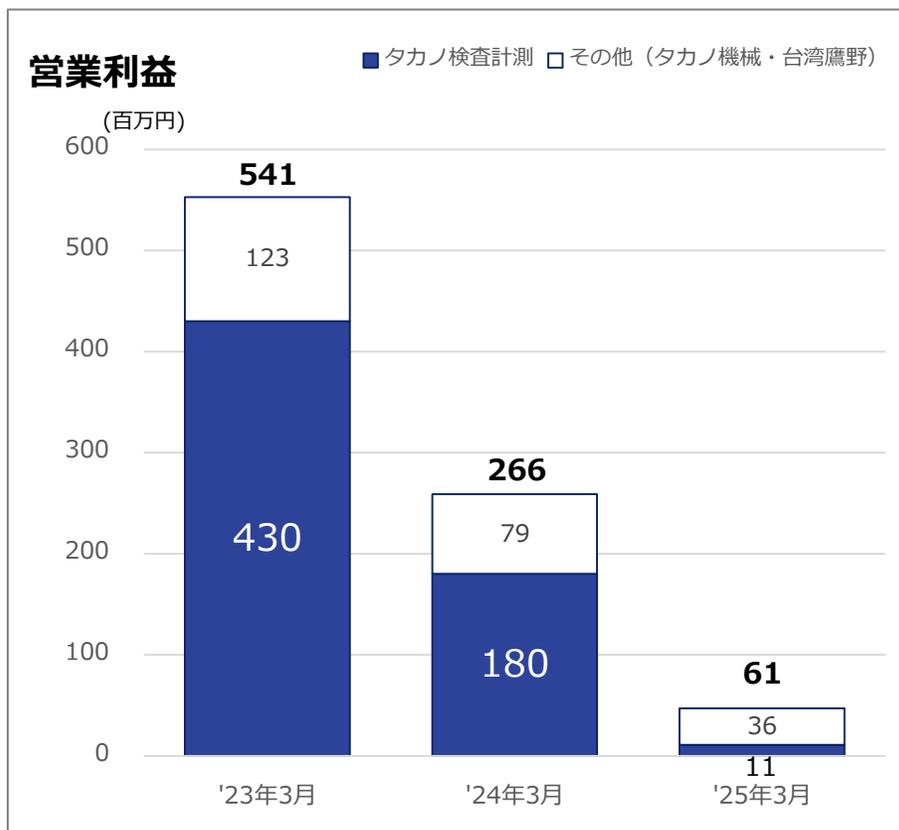
### セグメント利益も大幅減益 FPD向けの落ち込みによる粗利益の減少の影響

#### 検査計測機器 営業利益（百万円）

	2024年3月期	2025年3月期	増減額	増減率 (%)
タカノ検査計測 ※1・3	180	11	△168	△93.4%
その他 ※1・3 (タカノ機械・台湾鷹野)	79	36	△42	△53.8%
調整額	7	13	—	—
<b>連結営業利益</b> ※2・3	<b>266</b>	<b>61</b>	<b>△204</b>	<b>△76.7%</b>

※1：タカノ検査計測及びその他の営業利益は、セグメント間取引消去前の数値。

※2：セグメント利益は、セグメント間取引消去後の数値。



## 1. セグメント報告

## 2. タカノ検査計測部門報告

### 1. 事業概況

### 2. 売上受注計画

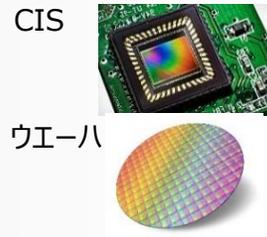
### 3. 中期事業展開方針

# 事業紹介

## 半導体・電子デバイス事業 (以下「半導体事業」という)

ウエーハの異物や欠陥を高速、高精度に検出できる半導体検査装置

- Vi** — ウエーハの配線パターンやクラック、異物混入などの製品外観を高速、高精度に検査
- WM** — ベアウエーハ表面のパーティクルを高感度に検出
- ALTAX** — ウエーハやBGAなどのパッケージ基板上に形成された bumps の高さ、径、コプラナティを高速かつ高精度に測定



WMシリーズ Viシリーズ ALTAX



※本資料における「半導体事業」は半導体と電子デバイスの合計を意味する。

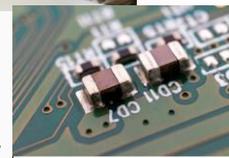
## フィルム事業

ラインセンサーを用いた光学式のフィルム検査装置

高性能カメラによる高速検査が可能 新規画像処理ユニットを搭載し、高速画像転送とAI欠陥分類により、生産ラインの品質向上を実現する

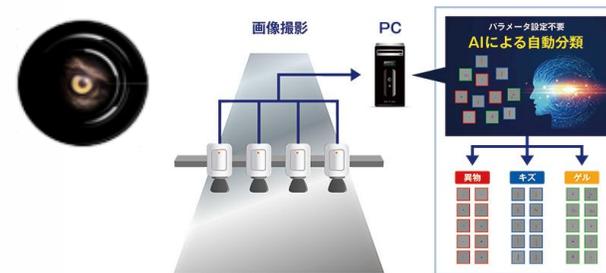
参入市場：光学フィルム・電子部材・Energy・医療用フィルム

機能性フィルム



電子部材

Hawk eyes (+ TAKANO AI)



## FPD事業 (液晶/フラットパネルディスプレイ事業、以下「FPD事業」という)

色ムラ、欠陥等を高精細に検出できる液晶検査装置

テレビやスマートフォン用の液晶パネル製造工程でパターン付き基板の自動検査・欠陥判定をし、量産の品質工程管理を行う装置

参入市場：LCD(液晶ディスプレイ),PDP(プラズマディスプレイ),OLED(有機ELディスプレイ)

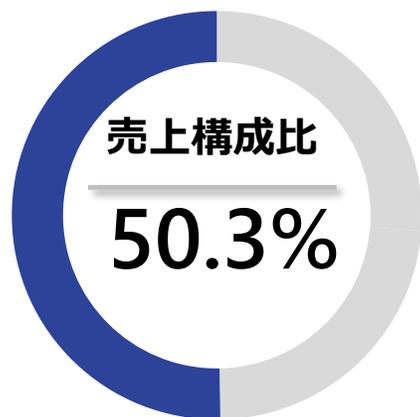


高精細外観検査装置 (カラーフィルター等) ムラ検査装置



# 2025年3月期 タカノ検査計測 売上構成

## 半導体事業

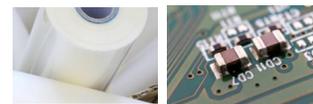
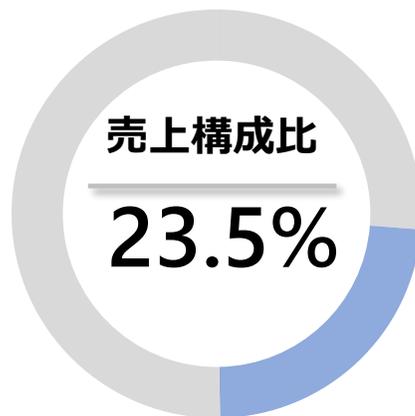


対前年  
**+10.1%**

ウェーハの異物や欠陥を高速・高精度に検出できる半導体検査装置を提供



## フィルム事業

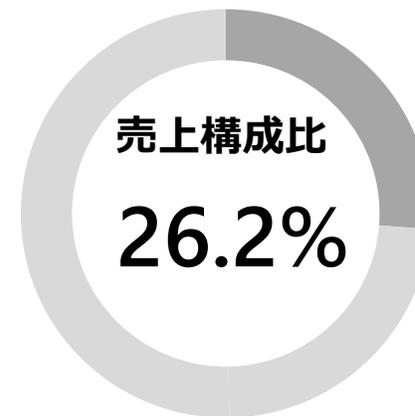


対前年  
**△2.0%**

ラインセンサーを用いた光学式のフィルム検査装置を提供



## FPD事業

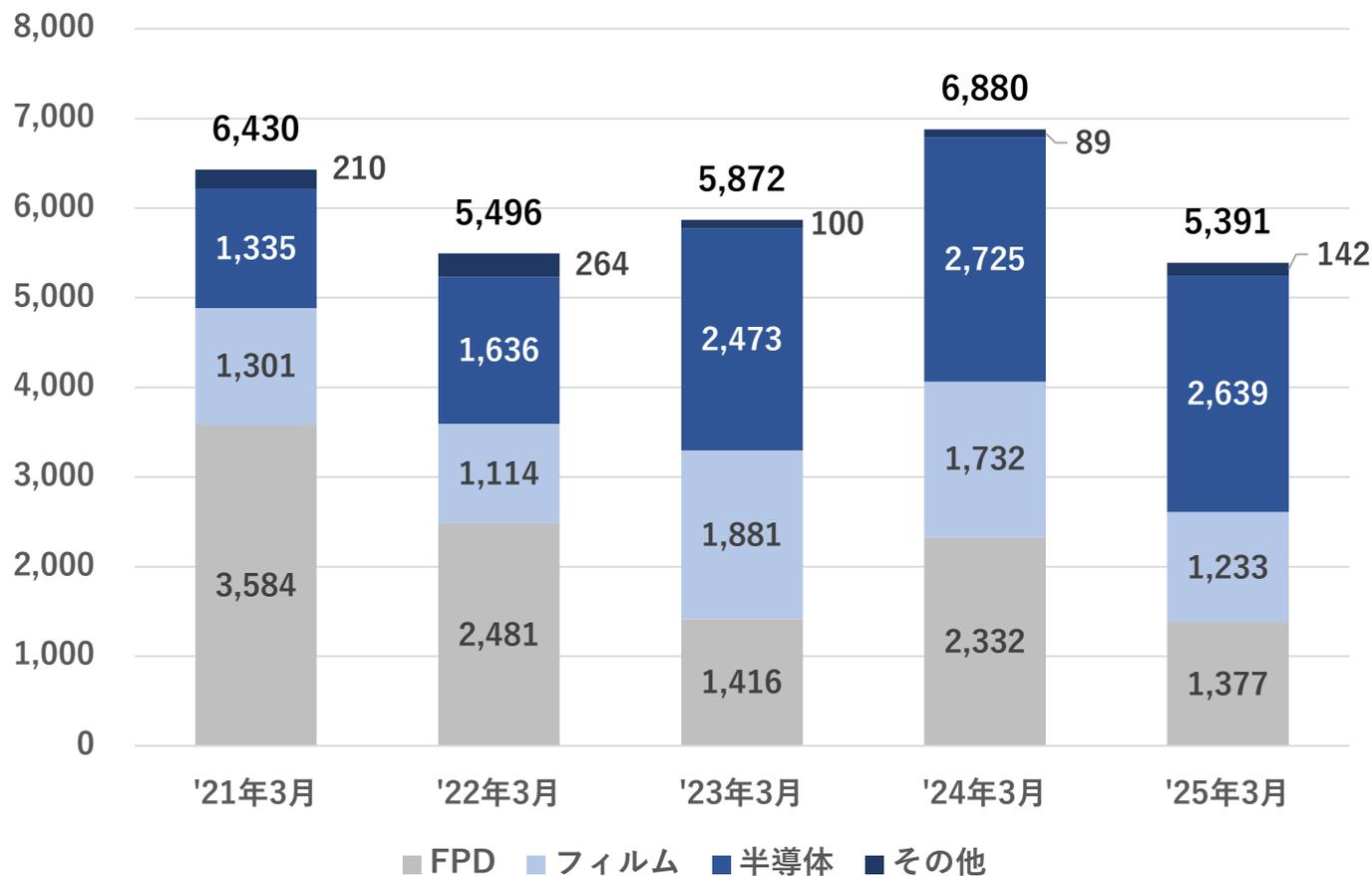


対前年  
**△8.1%**

色ムラ、欠陥等を高精細に検出できる液晶検査装置を提供

# 製品別売上高構成推移（実績：2025年3月期）

2025年3月期 製品別売上高 推移（百万円）



## 【FPD】

- ・下半期大口案件の売上計上はあったが、需要は引き続き低調。

## 【フィルム】

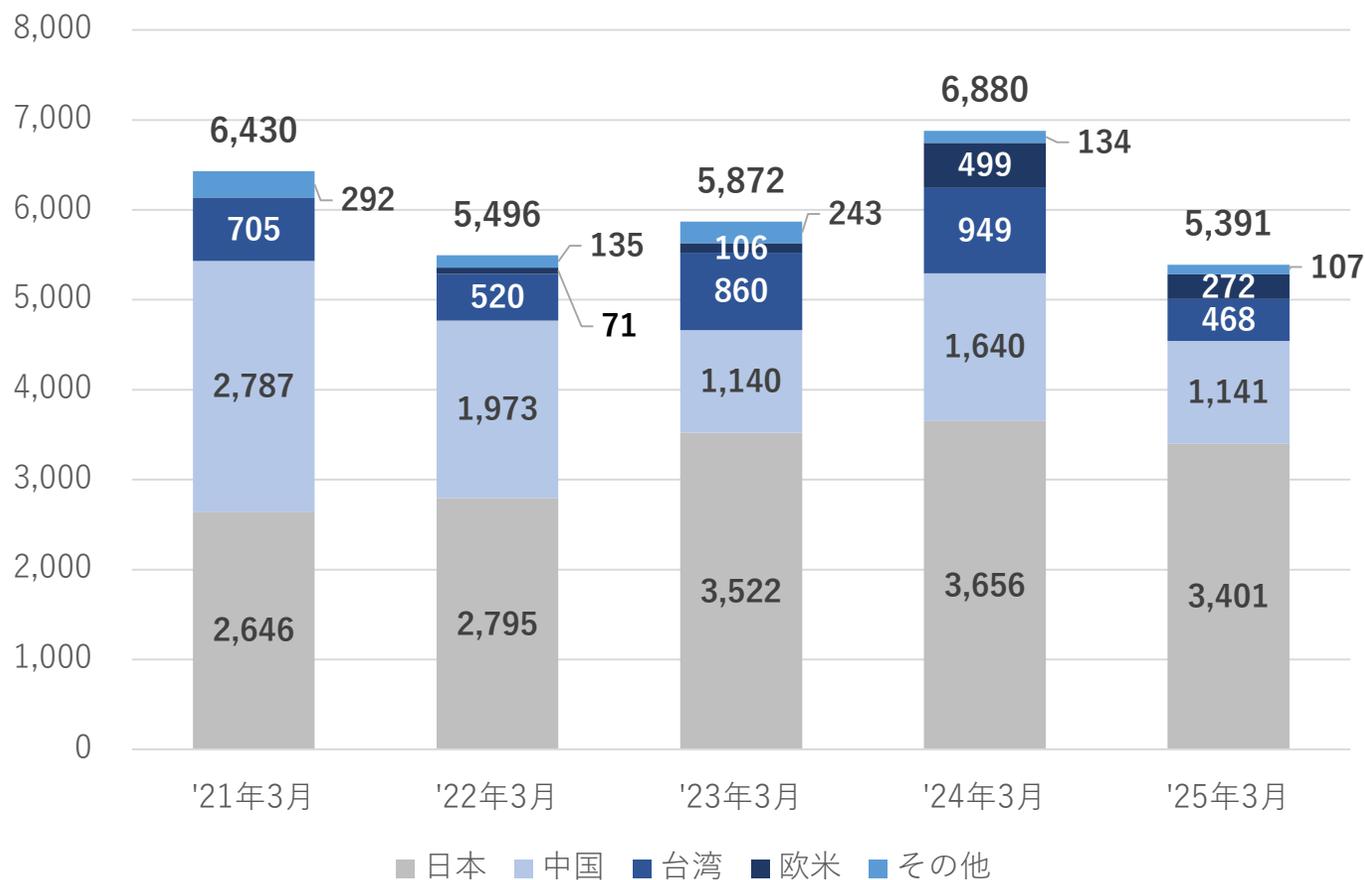
- ・当初売上計上を予定していた複数の案件の売上計上が翌期ズレした影響  
⇒引き合いは旺盛、受注体制の強化

## 【半導体】

- ・販売は微減も、台湾・中国向け案件、後工程向け装置の販売は増加  
⇒海外向け営業の組織化により販売体制強化。

# 地域別売上高構成推移（実績：2025年3月期）

2025年3月期 地域別売上高 推移（百万円）



## 【日本】

半導体向けの国内販売は堅調に推移

⇒半導体後工程向け製品販売に注力

## 【中国・台湾】

FPD向け販売の減少

⇒FPDメンテアフター需要の取り込み

⇒アジア圏へのWMシリーズ販売展開

## 【欧米】

今期、WMシリーズの欧米向け販売は一服

⇒代理店と協働し拡販を推進

## 1. セグメント報告

## 2. タカノ検査計測部門報告

### 1. 事業概況

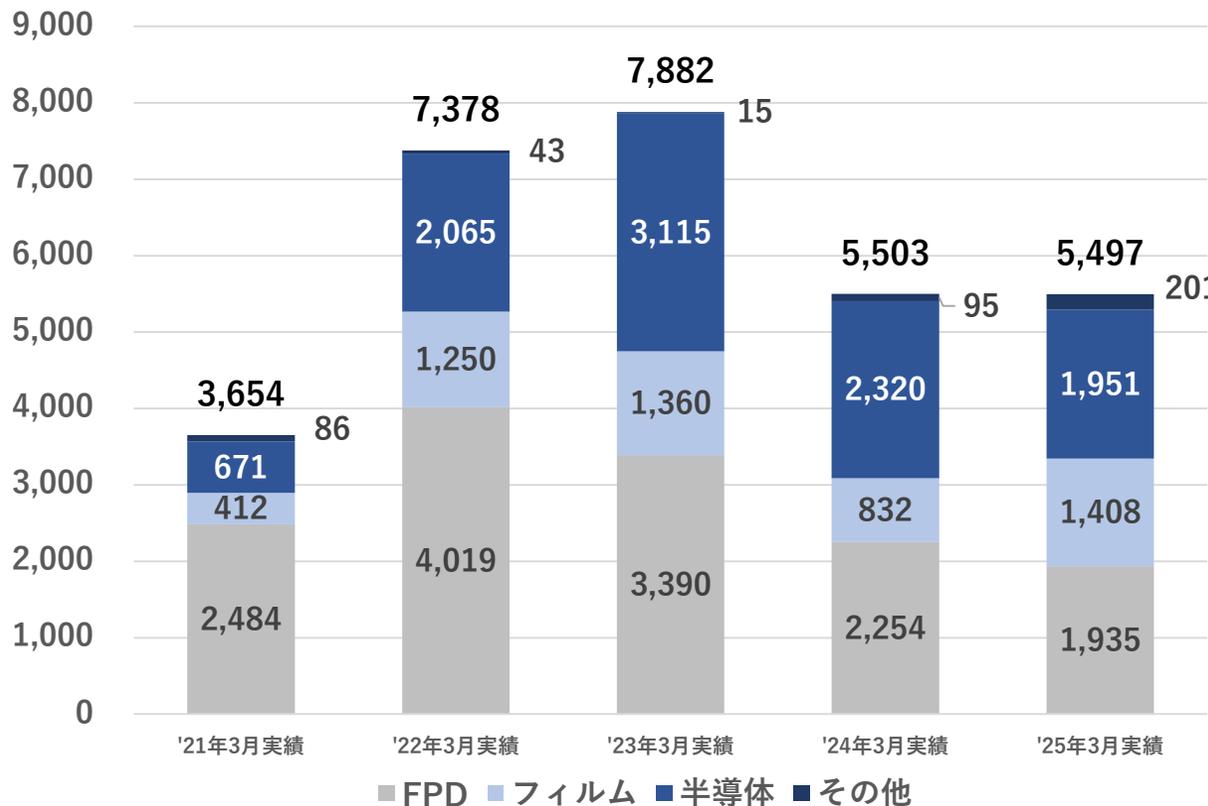
### 2. 売上受注計画

### 3. 中期事業展開方針

# 部門受注残高（実績：2025年3月期）

## 過熱気味な先行受注が平常化、後工程向け検査装置で積極的な受注活動を継続

2025年3月期 受注残高 推移 (百万円)



### 半導体

- 前工程顧客の設備投資の一服感はあるが、業界全体で技術開発が進み、引き合いはある
- 後工程AIサーバ向けPKG検査需要は旺盛  
受注は拡大基調

### フィルム

- 国内電子部品関連の受注・引き合いは増勢
- 装置単価も増額傾向

### FPD

- 中国向けの新規CFラインムラ検査装置受注
- 今後大型新規装置投資はあまり見込めない状況
- 既設ラインの統廃合が進む、移設や改造需要あり

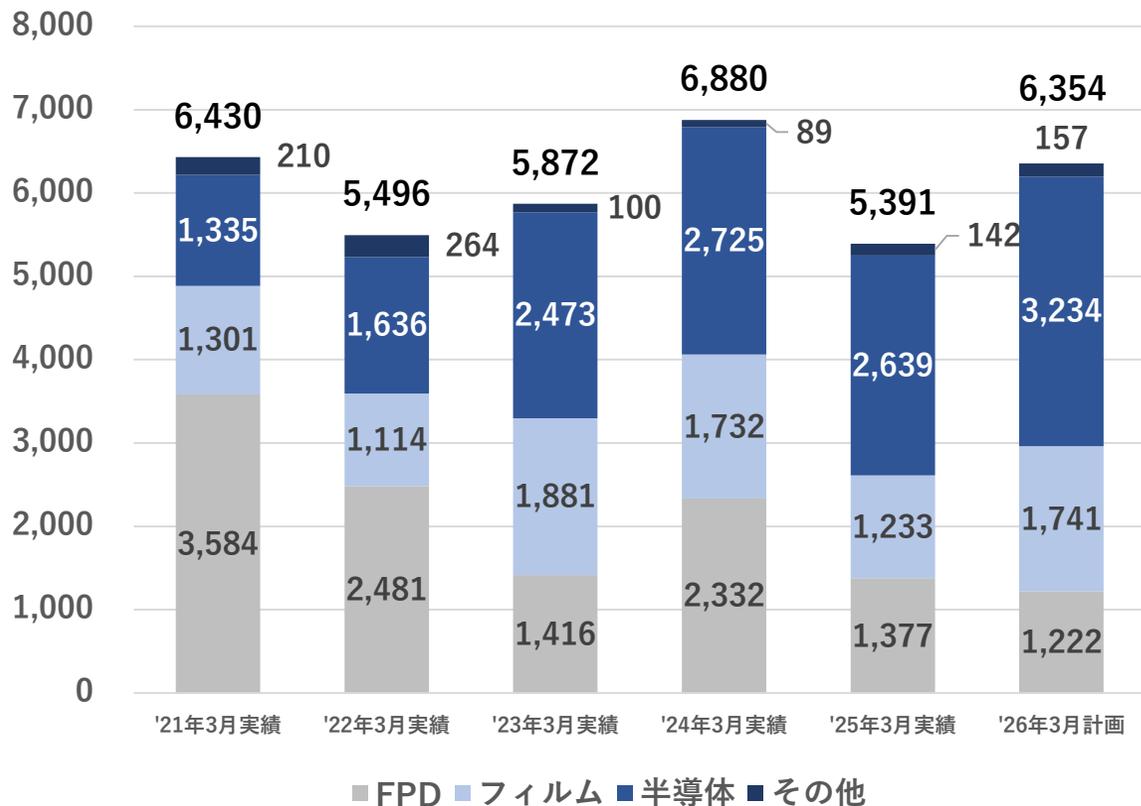
## 市況全般は改善の兆し。特に半導体市場に対してはポジティブな認識 (変動はあるが市場拡大を見込む、技術革新が当社製品の需要機会に)

事業	マーケット状況	補足説明
半導体	 曇 → 晴時々雲	<ul style="list-style-type: none"> <li>● AIサーバ向け半導体の需要が大きく拡大</li> <li>● 3D実装・チップレット等向け、後工程・先端パッケージ向けに投資拡大期待</li> <li>● 技術革新が進む → 新しいプロセス、新しい検査ニーズの発生 ガラスコアパッケージ・TGV等の需要顕在化 積極的に研究開発投資を行う</li> </ul>
フィルム	 晴時々雲 → 晴時々雲	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 半導体実装関係部材の投資は底堅い。</li> <li>● バッテリー関連は、車載向けに長い目で成長が期待される。</li> <li>● 半導体、電子デバイス向け基材メーカー（MLCC等）からの検査ニーズが増加</li> </ul>
FPD	 雨 → 雨時々曇り	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 主要顧客の新規大型投資については慎重な状態が続くが、一部顧客において増設投資は実施されている。また、装置移設需要も顕在化</li> <li>● 主要顧客の生産性改善投資（装置改造・メンテナンス）意欲はある</li> <li>● 当社納入の既設検査装置の改造需要に機会</li> </ul>

# 部門売上計画（計画：2026年3月期）

## 半導体事業拡大を進める（足元の市況は停滞感あるが、中長期を見据えて推進）

2025年3月期製品別売上高推移および2026年3月期計画（百万円）



### 半導体

- WMシリーズ次世代製品開発に注力
- 中間工程・後工程実装高度化（先端パッケージ含む）をターゲットに新製品開発
- グローバル営業体制強化（欧米・アジア同時展開）
- 半導体事業へ資源集中振向け（人員・拠点資産）

### フィルム

- 電池部材・電子材料分野をターゲットに
- グローバル営業展開
- ターゲット市場向け標準モデルの開発と拡販

### FPD

- 今後の需要見込みに合わせた効率的事業体制へ
- 半導体事業への人的資源・資産のシフト
- アフター・メンテ・改造需要の掘り起こし

## 1. セグメント報告

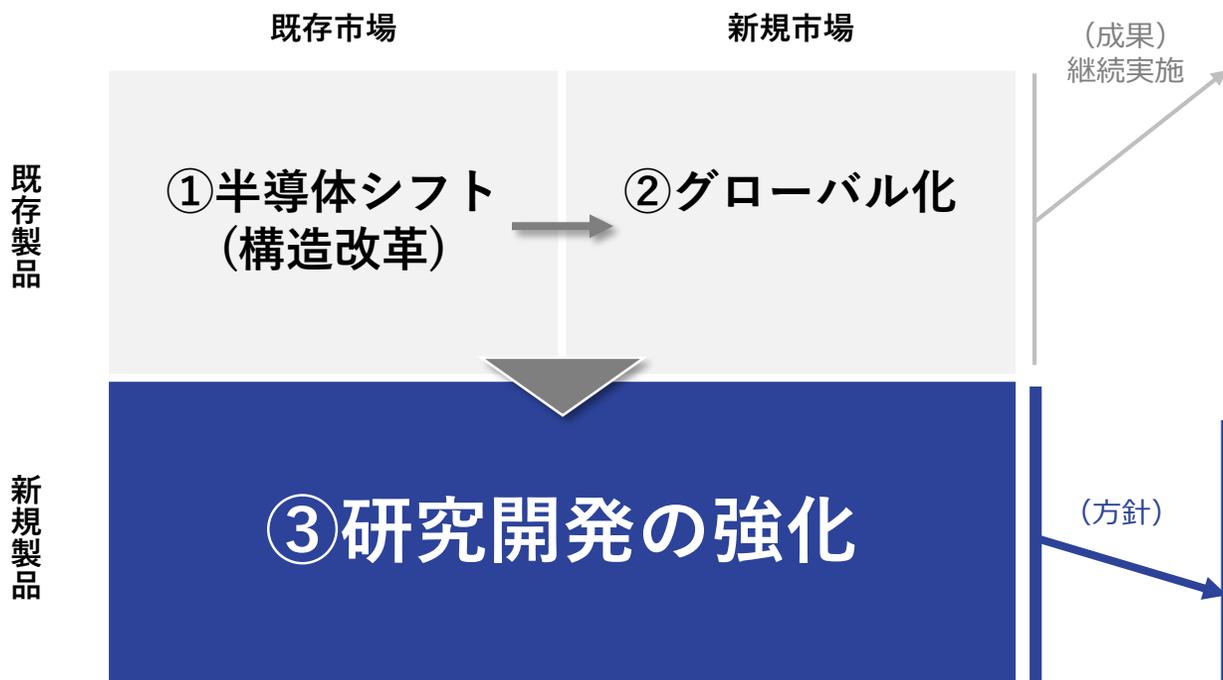
## 2. タカノ検査計測部門報告

### 1. 事業概況

### 2. 売上受注計画

### 3. 中期事業展開方針

今回中計において研究開発を強化し、  
半導体市場における競争/成長力を高める。



## 前回中計：①半導体シフト(構造改革)

- FPD市場の成熟化(及び市場縮小)
  - 高収益事業である半導体関連事業へのシフト
- **構造改革は今回中計でも継続**

## 前回中計：②海外市場売上の拡大

- 米国代理店との契約(半導体事業)
- 海外展示会への新規出展(米国, 欧州, 東南アジア等)
- 海外評価デモ環境の整備(台湾など)

## 今回中計：③研究開発の強化

- 研究開発関連投資を拡大(半導体関連が中心)

研究開発関連費用：**1.5倍**

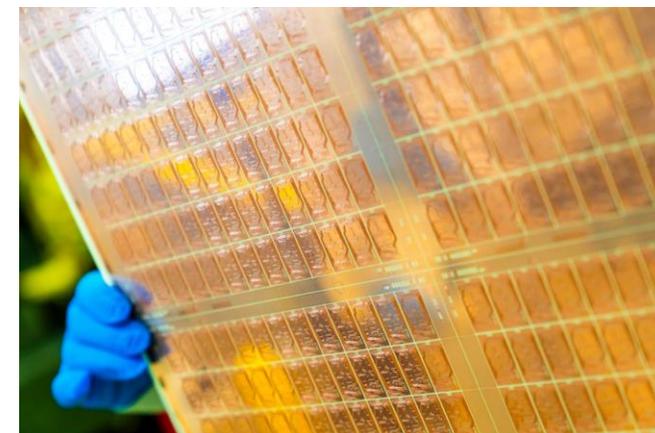
(前回中計最終年度に対して)

## 【トピックス】新ニーズへの対応－半導体後工程の高度化に向けて

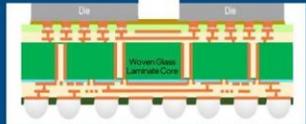
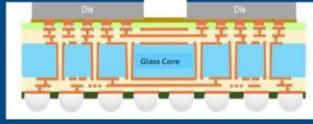
### ガラスコアパッケージ基板向け検査装置を新たに受注

- ・AIサーバ向け等の先端半導体パッケージでの活用を視野に入れたガラスコアパッケージ基板の研究開発が盛んに行われています。
- ・この度、当社ではこれらガラスコアパッケージ向け検査装置を受注いたしました。

先端パッケージに関する技術革新はさらに進展するなか、当社では、この分野に関する装置の開発を積極化してまいります。



Motivation for Glass Core Substrates

Organic Substrate	Glass Core Substrate
	
Organic substrates leverage traditional PCB-like cores with woven glass laminates	Glass core substrate enable significant improvement to both electrical and mechanical properties
<ul style="list-style-type: none"><li>➢ Provides a low cost, easily manufacturable material set with off-the-shelf laminates available from leading suppliers</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>➢ Tunable Modulus and CTE closer to silicon → Large form factor enabling</li><li>➢ Dimensional stability → Improved feature scaling</li><li>➢ High (~10x) through-hole density → Improved routing and signaling</li><li>➢ Low Loss → High speed signaling</li><li>➢ Higher Temperature capability → Advanced Integrated Power Delivery</li></ul>

Glass Core has similar properties as Si → Dimensional stability and ability to scale

\*Based on internal analysis of Intel products and projections of future Intel products. intel 6

出典：Intel

## 【トピックス】 トランプ関税に関する影響について

米国政府において、半導体製造装置を含む半導体製品に関する追加関税の調査検討が現在なされています。

現時点では、その具体的な内容は明らかとなっていないところであります。

米国代理店とその影響と発動時の対応について協議中

2025年3月期の**当事業の米国向け売上高比率は 5.1%** となっております。  
(主に 半導体向け検査装置WMシリーズに係るもの)

END  
(検査計測機器)

※この資料に記載されている業績予想等の将来に関する予測は、当社経営陣が現時点で入手可能な情報に基づき、判断したものです。

将来に関する予想には様々な潜在的リスクや不確定要素が内在されており、実際の業績は種々の要素によりこれらの将来予想とは異なる場合があります。

従いまして、この資料にある将来に関する予想に全面的に依存して投資等の判断を行うことはお差し控えください。

# 補足資料

# 当社およびグループ会社の概要について

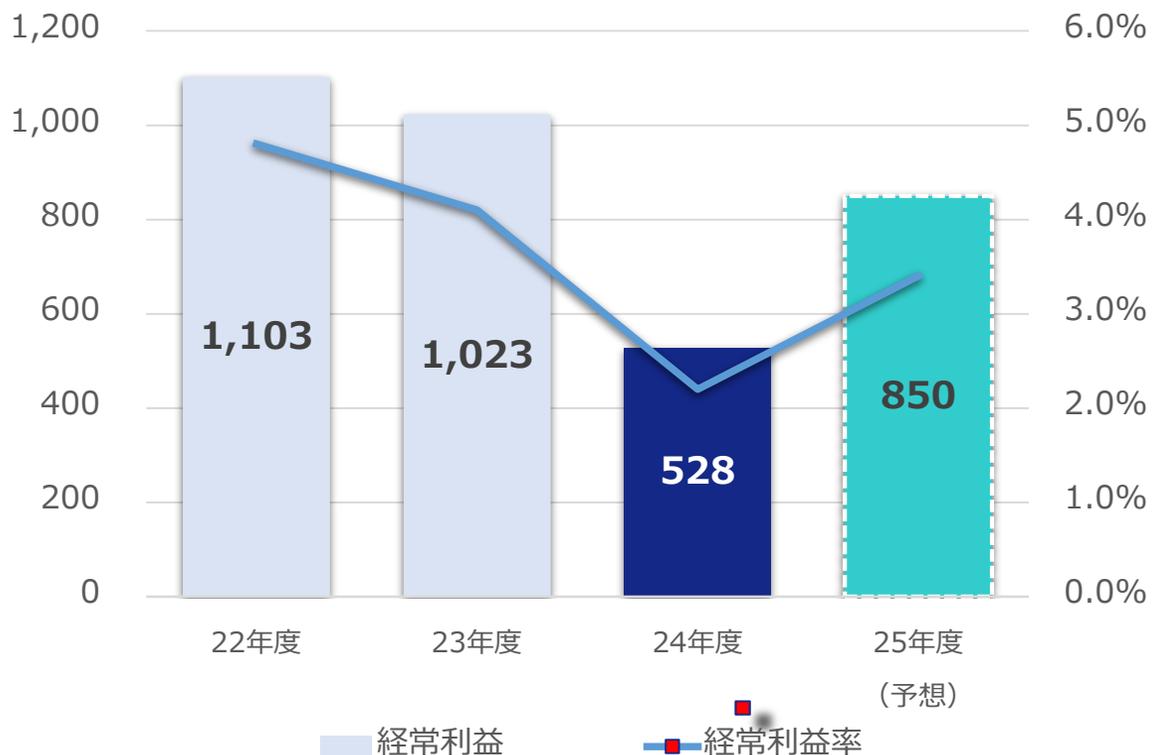
○：連結子会社、●：連結子会社（孫会社）

会社名	沿革等		事業の内容
※当社 タカノ株式会社	1953年7月 1997年2月	ばね製造会社として設立 東京証券取引所に上場	オフィス家具、ユニット（ばね）製品、エクステリア製品、画像処理検査装置、電磁アクチュエータ、健康福祉関連機器の製造販売
○(株)ニッコー [機械・工具]	1968年3月	グループ内の工具機械等の仕入をする商社機能として設立	工具、器具、機械、エクステリア製品の仕入販売
○タカノ機械(株) [検査計測機器]	1979年9月	当社治工具・専用機の設計製造部門を分離独立させ設立	省力化機械の製造販売 検査計測装置のメカ機械等の製作
○台湾鷹野股份有限公司 [検査計測機器]	2005年2月 2005年4月	当社100%子会社として設立 営業開始	台湾におけるFPD向け画像処理検査装置のメンテナンス、アフターサービス、販売活動
○上海鷹野商貿有限公司 [住生活関連機器]	2010年1月 2013年12月	当社100%子会社として設立 資本金を50万米ドルに増資	オフィス家具他、各種製品の仕入販売（当社各部門の中国市場向けの製品の販売活動等、中国からの部材仕入活動等を行う目的で設立）
○香港鷹野国際有限公司 [産業機器]	2011年8月 2012年4月	当社100%子会社として設立 営業本格開始	産業機器（電磁アクチュエータ）製品、検査計測機器製品およびそれぞれの製品にかかる部品等の仕入・販売（輸出入）
○Takano of America Inc. [産業機器]	2019年8月 2020年4月	当社100%子会社として設立 営業本格開始	産業機器（電磁アクチュエータ）製品の仕入販売
○(株)ユーキ・トレーディング [住生活関連機器]	1989年6月 2023年3月	会社設立 株式を100%取得し連結子会社化	福祉用具・健康用品の輸出入および国内販売
●鷹野電子(深圳)有限公司 [産業機器]	2023年9月 2023年10月	香港鷹野国際有限公司の100%子会社として設立 営業本格開始	産業機器（電磁アクチュエータ）製品および部品等の仕入・販売（輸出入）

# 経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益の推移

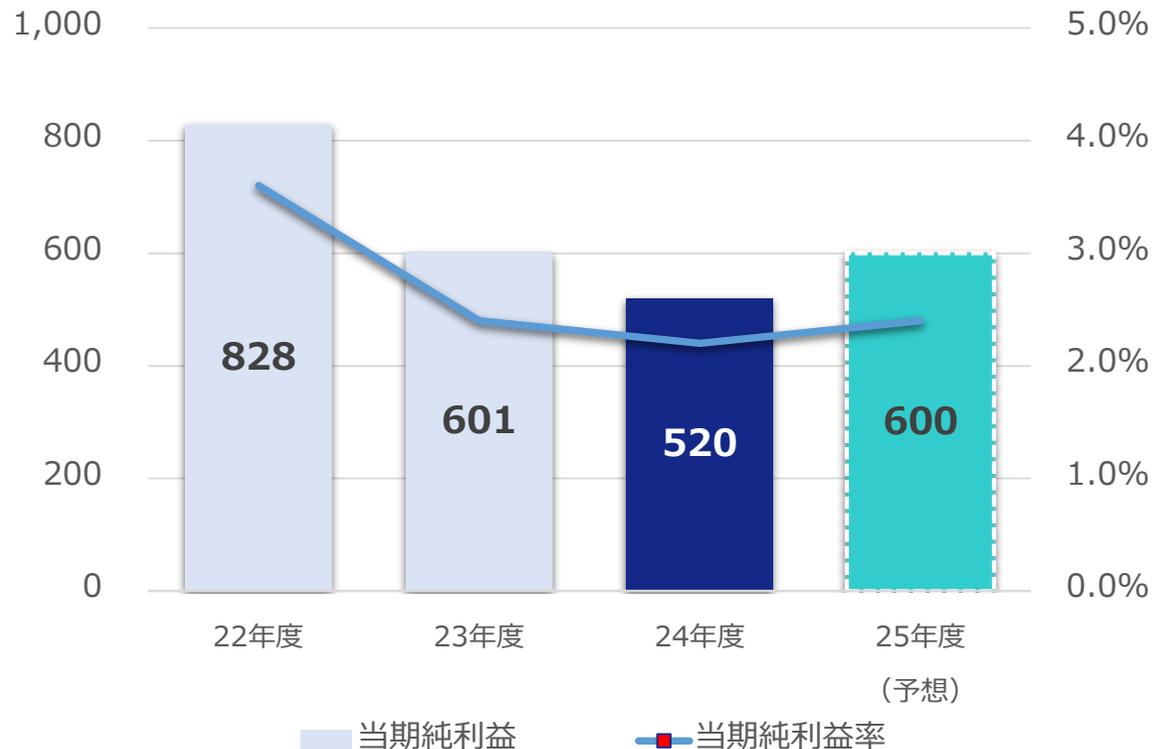
## 経常利益/率

単位：百万円



## 親会社株主に帰属する当期純利益/率

単位：百万円



● 2024年度の1株当たり当期純利益：34円19銭

# 総資産・純資産推移

## 総資産

単位：百万円



## 純資産

単位：百万円



● 2025年3月末の自己資本比率 **82.9%**

● 1株当たり純資産 **2,096円17銭**

## 2024年度 キャッシュ・フロー計算書

	2023年度実績 (百万円)	2024年度実績 (百万円)	前年比増減 (百万円)
営業活動によるCF	1,685	836	△849
投資活動によるCF	△514	△334	179
財務活動によるCF	△405	△425	△20
現金等換算差額	61	51	△10
現金等の増減額	827	127	△700
現金等期首残高	7,641	8,469	827
現金等期末残高	8,469	8,596	127